

力 キ 生 育 情 報

第 4 報
千葉県農林水産部
令和 7 年 8 月号

7月は高温・乾燥が続きました。果実の生育は3品種ともに平年並みです。枝葉が混みあっている所では枝の整理を行い、樹の内側の日当たりを良くしましょう。降雨が1週間以上ない場合はかん水を行いましょう。8月下旬～9月上旬はうどんこ病、炭疽病の防除時期となります。

1 令和7年7月の気象

令和7年7月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は全ての半旬で平年並み～高かった。月平均気温は27.6℃で、平年より2.4℃高く、前年より0.3℃低かった。

降水量は、第3半旬に42.0mm、第4半旬に9.5mmの降雨があり、それ以外では降雨がほぼなかった。月合計の降水量は52.0mmで、平年の30%、前年の51%であった。

日照時間は、第3半旬で平年より少なく、それ以外は平年より多かった。月合計の日照時間は264時間で平年の147%、前年の105%であった。

表1 令和7年7月の気象（館山観測所）

半旬	気 温 (℃)			降水量 (mm)			日照時間 (時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	27.3	23.8	27.1	0	37	7	30	23	44
2	28.7	24.4	28.3	1	39	0	47	26	51
3	25.7	25.0	26.1	42	34	78	14	28	21
4	27.4	25.4	27.0	10	26	18	41	30	30
5	28.3	25.9	29.2	0	21	0	62	32	58
6	28.0	26.4	29.6	0	19	0	70	42	49
平均/計	27.6	25.2	27.9	52	176	103	264	179	253

数値：暖地園芸研究所の観測機の故障のため、近くにある館山観測所のアメダスデータ

数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合がある

2 8～9月の作業

1) 摘 果

「西村早生」では、8月下旬頃（着色開始期）から仕上げ摘果を行う。果頂部が凹んだ果実や不整形の果実、着色が遅いか着色ムラのある果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。

2) 枝管理

2次伸長枝は、8月下旬～9月上旬頃に、充実したものを除き全て摘除する。

秋雨は汚損果の発生を助長する。汚損果の発生を防ぐため、果実に重なる葉や枝は摘除し、果実の重みで地面近くに垂れ下がった側枝などは、適宜、枝支えやつり上げを行う。

3) かん水

夏季の高温及び過乾燥が続くと、根の生育が停止して果実肥大が抑えられ、熟期の遅れ、着色不良、糖度不足、翌年の着花量不足などが生ずるので、かん水が必要である。特に、乾きやすい園、作土の浅い園では早めに多めに行う。

4) 収 穫

9月中旬頃から「西村早生」の収穫が始まる。カラーチャートを活用して適熟果の収穫に努めるとともに、果実はほんの小さな傷でも黒変しやすいので、ていねいに扱うことを心がける。また、渋果の混入を防ぐために、必ず渋果判定機による選別を行う。

5) 病虫害防除

気温が下がり秋雨が始まると、うどんこ病や落葉病、炭疽病の発生が多くなる。防除適期は8月下旬～9月上旬である。

カキノヘタムシガ、フジコナカイガラムシの防除のため、9月上旬～中旬にバンド誘殺を行う。また、カキノヘタムシガの被害果を地中に埋没する。7月16日に公表された千葉県病虫害発生予察情報第4報によると、果樹カメムシの発生は平年並みである。今後の情報に注意し、カメムシ類の発生が多い場合は、8月中旬以降に防除する。防除に際しては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

3 樹及び果実の生育

7月30日現在のカキの果径を表2に示した。横径は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ5.57cm、5.75cm、「富有」が5.79cmであった。本年の横径は「西村早生」が平年の104%、前年の97%であった。「松本早生富有」が平年の103%、前年の95%であった。「富有」は平年の103%、前年の100%であった。

縦径は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ4.04cm、4.07cm、「富有」が4.21cmであった。本年の縦径は「西村早生」が平年の99%、前年の95%であった。「松本早生富有」が平年の100%、前年の97%であった。「富有」は平年の99%、前年の96%であった。

果形指数は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ1.38、1.42、「富有」が1.38であった。本年の果形指数は3品種ともに平年より大きく、横長の傾向であった。

3品種共に果実の横径は平年並以上であるが、縦径はわずかに平年を下回る傾向が見られる。暖地園研では高温少雨の影響で日焼け果の発生が多い。また、炭疽病の発生も多い。

表2 果実の生育（7月28～31日調査）

品 種	調査地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西 村 早 生	いすみ市	5.33	5.32	5.78	3.93	4.11	4.26	1.36	1.30	1.36
	暖地園研	5.80	5.41	5.73	4.15	4.07	4.24	1.40	1.33	1.35
	平 均	5.57	5.37	5.76	4.04	4.09	4.25	1.38	1.32	1.36
松本早生富有	市 原 市	5.69	5.49	6.04	4.01	3.98	4.01	1.42	1.38	1.51
	暖地園研	5.81	5.69	6.05	4.12	4.15	4.34	1.41	1.37	1.39
	平 均	5.75	5.59	6.05	4.07	4.07	4.18	1.42	1.38	1.45
富 有	暖地園研	5.79	5.63	5.81	4.21	4.23	4.38	1.38	1.33	1.33

果形指数：横径/縦径

平年：暖地園研は1990年～2023年、いすみ市は1998年～2023年、市原市は1999年～2023年の平均

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>